



～ひなにこめられた想い～



26. 2. 28
杉並区広報課

企画展「博物館のひなまつり」を

開催しています。

現在、区立郷土博物館（大宮1-20-8）で企画展「博物館のひなまつり」が催されています。会場には、区民の方から寄贈された江戸末期頃や昭和期のひな人形17組、約200体がずらり。それぞれのひな人形には、寄贈者の手元にあったころのエピソードが「ひなのつぶやき」として記され、人形たちが、どの時代でも変わらずに女性たちに愛され、大切にされてきたことが感じられる展示となっています。

3月3日の桃の節供の時期には、全国的に、女の子の健やかな成長を願う行事が行われています。現在はひな飾りが行事の中心となっていますが、地域や時代、個々の家庭の事情などにより、桃の節供行事の内容やひな飾りの形式は様々です。

会場には、区民の方から寄贈された江戸末期頃や昭和期のひな人形17組、約200体が展示されています。それぞれのひな人形は、各家で飾っていた当時の飾り方をできる限り再現し、さらに寄贈時に所有者から聞き書きした人形の来歴やエピソードなどを「ひなのつぶやき」として記しています。

会場ですぐ目を引くのは、ずらりと並ぶ8組の段飾り。「ひなのつぶやき」を見てみると、「娘の成長を願い、母がひとつひとつ手作りで人形を作った」という話や、「戦時中、疎開の荷造りのために人形が入っていた木箱や毛せんは処分してしまったが、それでも人形は大切に保管し、戦後、道路に面した部屋に飾って、家族だけでなく道行く人の目も楽しませていた」というエピソードなど、1組1組の人形が飾られていた時代や家庭の様子を感じることができます。



他にも、住宅事情に合わせてコンパクトにガラスケースに収められたひな飾りや、戦時下の物資不足でひな人形を揃えられず、ひな人形の代わりにひな祭りにも飾っていたという初正月祝いの羽子板など、それぞれの時代を象徴する人形がならびます。

また、3月2日（日）には、箏の演奏会や古民家での温かい甘酒の提供（先着70名）もあります。どの時代でも変わらずに女性たちに愛され、大切にされてきたひな人形たちを、この機会にぜひご覧ください。

企画展「博物館のひなまつり」

【日 時】2月22日（土）～4月6日（日） 午前9時～午後5時

【休館日】毎週月曜（祝日の場合は翌日）、毎月第3木曜日

【観覧料】100円（中学生以下無料） ※車での来場はご遠慮ください。

◆ 箏の演奏と甘酒の提供

【日 時】3月2日（日）箏の演奏：午後2時～3時

甘酒の提供：午後1時から（先着70名）

【費 用】無料 ※観覧料（100円）は必要です。

【問い合わせ先】

郷土博物館 TEL：3317-0841